

みずほCustomer Desk Report 2022/08/22 号 (As of 2022/08/19)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	136.33
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	135.83	1.0091	137.15	1.1932	0.6912
SYD-NY High	137.22	1.0095	137.95	1.1936	0.6919
SYD-NY Low	135.72	1.0032	137.00	1.1793	0.6860
NY 5:00 PM	137.02	1.0040	137.45	1.1832	0.6875
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,706.74	▲ 292.30	日本2年債	▲0.0900%	0.0000%
NASDAQ	12,705.22	▲ 260.13	日本10年債	0.2000%	0.0100%
S&P	4,228.48	▲ 55.26	米国2年債	3.2370%	0.0302%
日経平均	28,930.33	▲ 11.81	米国5年債	3.0950%	0.0636%
TOPIX	1,994.52	4.02	米国10年債	2.9740%	0.0899%
シカゴ日経先物	28,735.00	▲ 380.00	独10年債	1.2325%	0.1370%
ロンドンFT	7,550.37	8.52	英10年債	2.4125%	0.0960%
DAX	13,544.52	▲ 152.89	豪10年債	3.4130%	0.0580%
ハンセン指数	19,773.03	9.12	USDJPY 1M Vol	11.59%	0.60%
上海総合	3,258.08	▲ 19.47	USDJPY 3M Vol	11.58%	0.52%
NY金	1,762.90	▲ 8.30	USDJPY 6M Vol	11.06%	0.56%
WTI	90.44	0.33	USDJPY 1M 25RR	0.19%	Yen Put Over
CRB指数	292.03	1.70	EURJPY 3M Vol	12.19%	0.26%
ドルインデックス	108.17	0.69	EURJPY 6M Vol	11.95%	0.34%

東京	東京時間のドル円は135.83レベルでオープン。前日の海外時間の流れを引き継ぎ、堅調に推移した。仲値前には実需のドル買いもあってか、136.38まで上昇。一巡後は米金利上昇を背景に底堅く推移し、136.30レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、136.30レベルでオープン。堅調な米金利を背景にドルが全面高に。ドル円はほぼ一本調子であげ一時137.18まで上昇し137.02レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は136円手前でスタート。日本の7月CPIが発表され、結果が予想範囲内で無風通過だったことや、実質GDPで実需のドル買いが観測される中、136円台半ばまで上昇。欧州時間では米長期金利上昇が加わり、早朝には137円台に乗せ、137.02レベルでNYオープン。本日は主要な米経済指標発表が予定されていない中、利益確定の売りが入り136.80近辺まで反落。しかし、すぐにドル買いは再開し、137.22まで高値を更新。その後、バーキン・リッチモンド連銀総裁が「リセッションが起きてもインフレは抑制しなければならない」など他のFRB高官同様に効率的な発言を述べており、ドル買いの根強さをサポート。午後は週末ムードで積極的な取引が手控えられ、137円手前まで反落。結局、137.02レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.00台後半でスタート。欧州時間ではユーロ円の上昇につれて1.0095まで上昇するも、EU圏では予想上振れの7月PPIやエネルギー不足懸念の高まりから景気後退懸念が根強く、その後は伸び悩む。また、米金利上昇に伴うドル買いや欧州株安が上値を抑制し、1.0046まで反落し、1.0050レベルでNYオープン。朝方はドル買いの小休止で1.0068まで上昇するも、ユーロ売りドル買いが再開し、1.0032まで下押し。週末ムードでその後、パリティ割れを試す気配はなかったが、ユーロのショートカバーが出てくる様子もなく、結局、安値圏の1.0040レベルでクローズ。

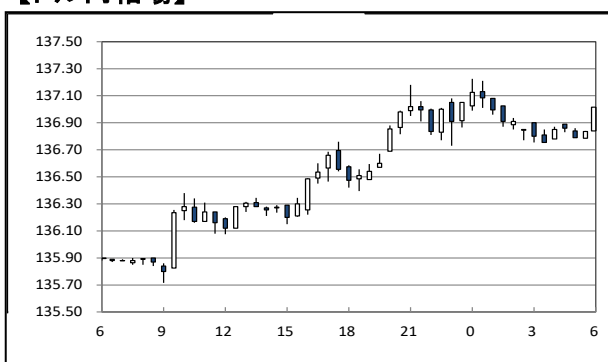
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月19日	08:01	英 GfK消費者信頼感	8月 -44	-42
	08:30	日 全国 CPI/コアCPI/コアコアCPI	7月 2.6%/2.4%/1.2%	2.6%/2.4%/1.1%
	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	7月 0.4%/-3%	-0.3%/-3.1%
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	7月 5.3%/37.2%	0.7%/31.8%
	21:30	加 小売売上高(前月比)	6月 1.1%	0.4%

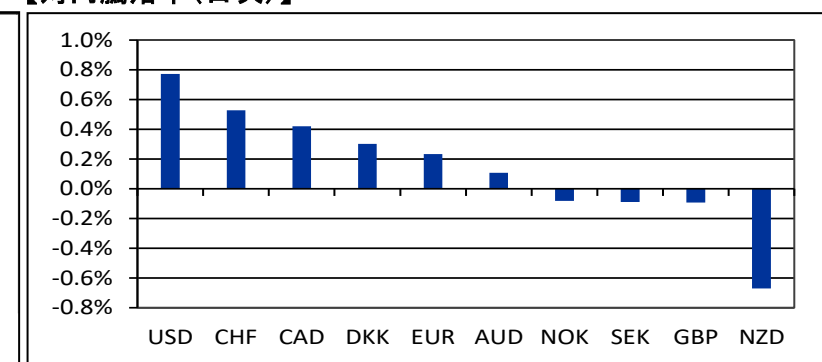
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月22日	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	7月 -0.25	-0.19

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	136.00-138.50	1.0000-1.0100	136.00-139.50

【マーケット・インプレッション】

先週末のドル円は米金利上昇にサポートされ、じり高の展開となった。東京時間では実需のフローに支えられ、堅調に推移。海外時間に入っても、FRB高官のタカ派発言もあったことで、着実な利上げが意識される中、米金利は上げ幅を拡大。137.22円までドル円は買われ、同水準で引けた。本日のドル円は引き続き底堅い推移を予想。足許、FRB高官のタカ派発言もあり米金利はベアフラットニング。今週は対面に戻ったカンザスシティ連銀主催のシンポジウム、ジャクソンホール会合が開かれる予定。メインイベントは26日東京時間夜に行われるパウエル議長の講演であり、今までの当局発言を鑑みるにインフレ抑制に向けて改めて利上げの決意を表明するとみられる。よって米金利は上昇方向のモメンタムは継続、ドル円はドル買いにサポートされ底堅い推移となろう。尚、過度な利上げ姿勢により景気減速が意識され、グロース株を中心とした株安による急な円高には留意。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 原田・小林